

報道機関各位

ながおか・若者・しごと機構 事務局長
(ミライエ長岡企画推進室 事業担当課長)



長岡市

若者へのPRが課題

長岡市に暮らす若者への意識調査結果



長岡市とながおか・若者・しごと機構は、市や同機構の施策に若者の視点や意向を反映するため、進学、就職などの進路の岐路に立つ若者を対象にした意識調査を毎年実施しています。

このたび、令和6年度の調査結果がまとまりました。つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

長岡市に暮らす若者の意識調査

- 1 調査概要** 進学、就職など進路の岐路に立ち、これからの社会を担う若者を対象に、長岡の若者の取り巻く環境や進学、就職、定住などの意向を把握する調査。
※ 市内在住の17歳と、市内大学・高専・専門学校に通う卒業年の学生を対象に、隔年で対象を変えて実施。
- 2 調査期間** 令和6年11月1日（金）～11月29日（金）
- 3 対象** 市内に住民票がある平成19年4月2日から平成20年4月1日生まれの高校2年生相当 2,332人
- 4 調査項目** 進学・就職先の地域、進路選定で重要視する項目、長岡市への居住の意思など
- 5 調査方法** 長岡市住民基本台帳より対象者を抽出し、依頼文を郵送。依頼文記載のQRコード（URL併記）からWebにより回答。
- 6 回収率** 回答数 1,125件 回答率 48.2%
- 7 調査結果** 長岡市での居住に前向きな若者が増えたものの、就職したい企業が「ない」が7割強、理由の7割は「どのような企業があるかわからない」など。
そのほか、意識調査から見えた傾向については別紙のとおり。
※調査報告書は下記サイトに掲載しています。
<https://n-wakamonokikou.net/01/01-chosa.html>
- 8 実施主体** 長岡市、ながおか・若者・しごと機構

問い合わせ：ながおか・若者・しごと機構 事務局長 間嶋
(ミライエ長岡企画推進室 事業担当課長)

Tel 0258-86-6008

《意識調査から見た傾向》

1. 進路の希望地域は「長岡市」「新潟市」「首都圏」の3つが多い（問3）【P. 15-21】

- ・就職も含めて選んだ進路の希望地域は、全体では長岡市（20.0%）、首都圏（19.9%）、新潟市（18.4%）の3つの割合が高かった。「長岡市」「新潟市」「県内（長岡市・新潟市以外）」を合わせた『新潟県内』の割合は49.2%となり、「首都圏」「県外（首都圏、関西圏以外）」「関西圏」「海外」を合わせた『新潟県外』（29.7%）を19.5ポイント上回った。
- ・性別では、男性は「首都圏」（21.9%）の割合が最も高く、女性は「新潟市」（22.3%）が最も高くなった。「長岡市」「新潟市」「県内（長岡市・新潟市以外）」を合わせた『新潟県内』の割合は男性が43.7%、女性が54.2%となり、女性が男性を10.5ポイント上回った。

2. 将来の仕事として興味がある分野は、男性は「コンピュータ・Web・ゲーム」、女性は「医療・歯科・看護・リハビリ（薬・鍼灸・整体等含む）」（問5）【P. 27-31】

- ・将来の仕事として興味がある分野は、男性は「コンピュータ・Web・ゲーム」（20.6%）の割合が最も高く、女性は「医療・歯科・看護・リハビリ（薬・鍼灸・整体等含む）」（23.5%）が最も高かった。また、男性は女性に比べて「コンピュータ・Web・ゲーム」「機械・電気・科学」などが高かった一方、女性は男性に比べて「医療・歯科・看護・リハビリ（薬・鍼灸・整体等含む）」「旅行・ホテル・ブライダル・観光」などが高かった。

3. 長岡に就職したいと思う企業、機関は「ない」が7割強も、理由を尋ねると「どのような企業があるかわからないから」が7割台半ばを占める（問9、問10）【P. 44-47】

- ・長岡に就職したいと思う企業、機関があるかを尋ねたところ、「3つ以上ある」2.2%、「1つ、2つある」25.5%、「ない」72.3%となり、「ない」が7割強を占めた。
- ・一方で、長岡に就職したいと思う企業、機関がない理由を尋ねたところ、全体では「どのような企業があるかわからないから」の割合が76.4%と最も高く、「就職したい業種の企業がないから」が14.4%、「規模が小さいから」が6.9%、「知名度が低いから」が2.3%だった。

4. 約8割の者が長岡市に誇りや愛着が「ある」と回答（問11）【P. 48-49】

- ・長岡市に誇りや愛着があるかを尋ねたところ、「ある」の割合が81.4%と8割強を占めた。

5. 約5割の者が『長岡市での居住に前向き』で、前回より7.9ポイント増（問12）【P. 50-51】

- ・長岡市に住み続けたいかを尋ねたところ、「ずっと住み続けたい」11.5%、「一度市外へ出て、長岡市に戻ってきて住みたい」が39.0%、「住みたくない」が9.2%、「わからない」が40.4%だった。「ずっと住み続けたい」と「一度市外へ出て、長岡市に戻ってきて住みたい」を合わせた『長岡市での居住に前向き』の割合は50.5%で、前回調査（令和4年度）の42.6%に比べ増加した。

6. 長岡市に住みたい理由は「長岡市が好きだから」、一方、長岡市住みたくない理由は「違う場所で生活してみたいから」（問13、問14）【P. 52-59】

- ・長岡市に住みたい理由を尋ねると、全体では「長岡市（または自分が住む地域）が好きだから」の割合が40.1%と最も高く、「長岡市での生活に慣れているから」（28.0%）が続いた。
- ・性別では、「長岡市での生活に慣れているから」と「（自分の意思で）親の近くで生活したいから」の2つの割合について、女性（31.6%、8.4%）の方が男性（24.0%、2.0%）に比べて高かった。
- ・一方、長岡市に住みたくない理由を尋ねたところ、全体では「違う場所で生活してみたいから」の割合が19.4%と最も高く、「街に魅力を感じないから」（12.6%）が続いた。
- ・性別では、男性は「違う場所で生活してみたいから」（31.0%）の割合が最も高く、女性は「親と離れて住みたいから」（18.3%）が最も高かった。